

タイ国内 不正薬物関連ニュース（26年5月上旬）

・5月3日

バンコク・スクンビット33 覚醒剤所持容疑 で日本人男性2人逮捕

2026年5月2日夕方、タイ入国管理局（移民局）の捜査チームは、バンコク・ワッタナー区のスクンビット・ソイ33/1付近で、日本人男性2人を第1種麻薬（アイス／メタンフェタミン）の無許可所持容疑で逮捕しました。タイの大手メディアは2人を「ヤクザ」と表現して報じていますが、記事本文では「全身の入れ墨がヤクザ構成員に似ていた」とされており、現時点では実際の暴力団関係者だったかどうかは断定されていません。

（情報ソース https://www.matichon.co.th/local/news_5701912）

・5月6日

タイ南部の薬物更生施設から約500人脱走

6日7時20分、タイの191ラジオセンターは、南部ナコンシータンマラート県ナーボン郡にある薬物リハビリ施設から、約500人が脱走したと通報を受けた。当局は同日13時に全員を確保した。カオソッドなどの報道によると、薬物更生コースの修了後、家族が迎えに来なかったことに腹を立てた約10人が門を突破。他の収容者もそれに続き、約500人が脱走した。当時、施設では停電が発生していた。施設への被害は無かった。同郡長のウィーラパン氏は、「収容者らは1年間、施設に滞在している。ストレスが溜まって帰宅したかったのだろう。施設も家族に連絡しているが、拒否された」と話した。当局は家族に対し、収容者を自宅へ連れ帰るよう改めて呼び掛け。更生コースを修了した約30人は6日、自力で自宅に帰宅した

（情報ソース https://www.khaosod.co.th/around-thailand/news_10234250）



薬物検査サービスについては下記ウェブサイトをご参照下さい。

<https://npdhealthcare.co.th>



AED（自動体外式除細動器）レンタルサービスについては下記ウェブサイトをご参照ください。

<https://aed.npdhealthcare.co.th>

